

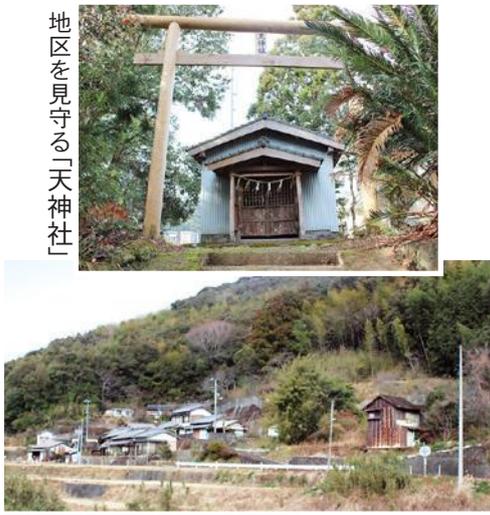
住民の声

大屋敷地区を
お訪ねしました！

大屋敷地区は、大方地域の中央部、県道大用大方線沿いに位置し、地区長によると世帯数は28世帯、人口60人ほどの小集落で、その内65歳以上の方が33人と高齢化が進んでいるとのこと。

そうした状況下、当地区内の旧北郷小学校にて毎年8月に開催の「納涼祭」は、県道清掃作業により資金の一部を確保するなどして、地域のお祭りとして継続中とのこと。

大屋敷地区の遠景(左と下)



地区を見守る「天神社」



また、地区住民の集いの場「ミニ屋台村」を、「あつたかふれあいセンター北郷」や「集落活動センター北郷」にお世話になり2カ月に1回のペースで開催し、周辺地区民も交えての楽しいひと時を過ごしているとのことでした。

▼地域の活動拠点となつている旧北郷小学校



堀区長(上写真左端)の司会で進む「初会」(上と左、1月7日)

当地区は、高齢化の進んだ小集落ですが、地区内にある旧北郷小学校を活用し、周辺地区などと共に北郷地域全体を盛り上げようと、平成24年6月に「あつたかふれあいセンター北郷」を、また平成25年3月には「集落活動センター北郷」を立上げて、地域の活性化に取り組んでいます。

堀 孝区長の声

そうした中、地区内で毎年8月に開催の「納涼祭」は昨年11回を数え、200人ほどが集まり大盛況に。今年も予定していますので「乞うご期待」です。

議会や行政への一言ですが、これらの地区や地域の活性化への取り組み、また県道大用大方線の改良に layersの取り組みをお願いします。

編集後記

今回の目玉といえば、なんといつても庁舎の移転だったと思います。

平成30年1月9日から高台の新庁舎に移転しましたが、開庁に当たって住民からは「遠く感じる」「行きづらい」とか、「奇麗になってうれしい」「防災拠点施設が高台に移転してほっとした」等々、さまざまな声が聞かれます。

庁舎は高台に移転しましたが、目線はこれまで以上に住民に近く、気軽に来て頂ける運営に努めて欲しいと思います。

庁舎内部での開庁式は1月9日に行われましたが、正式に住民の方々に交えての開庁式典は5月20日に行う予定となっております。

議会広報常任委員会

- 委員長 宮川 徳光
- 副委員長 浅野 修一
- 委員 小松 孝年
- 同 坂本 あや
- 同 藤本 岩義
- 同 宮地 葉子